

# 「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町2-4-18 FAX0282-22-3757  
代表：齋藤昭俊 電話連絡先0282-22-7079(増田)  
Eメール [oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp) HP：太平山麓九条の会で検索

129号  
2018年1月26日発行

## 九条は私のいのち



太平山麓九条の会代表 齋藤昭俊



憲法改悪の論議が始まっている。その中心にあるのが戦争放棄の「憲法第九条」である。

昨年、国連会議で122ヶ国が核兵器禁止条約に賛成した。日本は米国、中国、ロシアなどの核兵器所有国と同じように署名していない。1万5千個に及ぶ核爆弾がこれらの国を中心に所蔵されている。戦争がおこったら、この爆弾が破裂し、人類は滅亡する。つまり人類滅亡をとるのか、核爆弾の廃棄をとるのかという差し迫った状況なのである。

122ヶ国のうち、50ヶ国が批准すれば禁止条約は発効します。人類の愚かさど人類の理性（知性）のどちらかによって破滅か存続かの瀬戸際に立っているのである。日本政府は愚かさにして条約に署名していません。日本政府は、日本という主権を放棄して、ひたすらアメリカに服従しています。沖縄問題、北朝鮮問題、やたらに危険をおおっています。生活保護費を160億円も削って、自民党は政党助成金を176億円超受け取っています。そして、あらゆることに口出しをしています。森友問題、加計問題など、都合の悪いものには口を噤む。政府が教育をも決めようとしています。いや、決めているのは昨年の文系縮小問題でも明らかです。教育費を負担するといいながら、小・中学校の児童生徒の必要経費は年々多くなっています。高校・大学を無料にしようというのも、生活保護費や医療費、年金などのカットからしても、宣伝だけのものではなからうか。

まずは軍事費のカット、政党助成金のカット、衆参議員の俸給をカットから始めたいでしょう。

私たちは戦争のない、平和な世界を願っています。その象徴が憲法九条の戦争放棄なのです。

### スタンディングのお知らせ

9条改憲阻止！ 憲法9条守ろう！

2月9日(金) 栃木市役所前  
2月19日(月) ケーズデンキ大平交差点前  
※午後3時～(約30分間)



1月19日コープ栃木店前  
「9条改憲NO!3000万署名」

…じゃない…



◆戦争法の廃止と立憲主義の回復を求める栃木県民ネットワーク 総会」  
2月10日(土) 午後1時半～  
栃木県弁護士会館4階会議室

◆小山九条の会 総会と講演  
2月12日(月) 振替休日)  
小山市文化センター小ホール  
総会 9時半～  
講演 10時半～12時  
講師 伊藤豊氏 伊藤塾塾長(改憲を許さず、日本国憲法を活かすために…)

◆デモクラティクススクール つながるひろば  
学校の記憶  
～次世代に語り継ぐ～  
2月18日(日) 9時半～12時  
栃木文化会館 大会議室  
語り手 郡司俊雄さん  
後援 栃木市 栃木市教育委員会

◆田中正造を現代に生かす会 シンポジウム 安倍政権の改憲 発議は許さない…協働の発展で つくる新しい政治と田中正造」  
2月18日(日) 午後1時～  
佐野市中央公民館

# 晴れやかに 成人を祝う!

## 栃木市6会場 1500名に「豆本」を配布

太平山麓九条の会は、5回目となる1月7日、栃木市内6会場前で、各地域の賛同者が協力し、新成人者におめでとう!と「豆本」を手渡しました。今回の「豆本」は、樺坂46 (秋元康作詩) が歌っている「サイレント・マジョリティー」の一節を冒頭に挿入しました。

「豆本」の一部を紹介します。



### 成人おめでとう!

あなたに贈りたい歌がある

♪♪  
「サイレント・マジョリティー」  
樺坂 46 秋元康作詩  
①

♪「どこかの国の大統領が言っていた  
声を上げない者たちは  
賛成していると…」

選べるのが大事なんだ  
人に任せるな 行動しなければ  
NOと伝わらない! ♪ ②

成人の仲間になったあなた  
わたしたちは憲法の番人!  
わたしたちの国を  
わたしたちの憲法の理想に  
近づけるために  
一人ひとりが声を  
上げませんか



あなたはどうか考えますか? ⑧

## 「アトリエに珈琲の香り流れ〜

### まなざしの質を磨く憲法カフェ」



田中佑雲 (書家)

自身が無知に呆れ  
つつも興味は尽き  
ない。各位の蘊蓄  
傾けた解説は勿論  
だが、寧ろそれ以  
上に情熱的に語ら  
れる各位の人性が  
伝わってきて共鳴  
するのである。  
洵に刺激的なひと  
ときを忝く戴いて  
いるが、読書家  
Y氏の私淑される  
羽仁五郎の「君の  
心が戦争を引き起  
こす」を想起させ  
る講演を暮れに聴  
くことがあった。  
ポーランドに住む

昨年から毎月、拙宅アト  
リエで「憲法カフェ」と名  
付けた学習会を開いてい  
る。参加者の持ち回りでテ  
ーマを基に討議(否、歓  
談?)だが、書三昧に明け  
暮れる庵主の私は専らコ  
ーヒーを淹れ円卓用意す  
るだけである。いつも目か  
ら鱗のように歴史の真実  
を教えられていて

中谷剛氏。母校の佐野高校で  
アウシュヴィッツ慰霊博物館  
に日本人唯一の公式ガイド  
として採用されるまでの体  
験談、ご自身の好奇心を常に  
大切にしながら旅人のように  
に異国を歩かれ直接の見聞、  
運命のように巡り逢った恩  
師、いずれの場面も髣髴と  
させて穏やかな言い回しな  
がら「人間が自由を生きる」  
ことの重要性を込めていた。  
「ホロコーストは、いかにし  
て起こり、なぜ誰も止められ  
なかつたのか?」これまで多  
くの歴史学研究がなされて  
いながら未だ決定的答を得  
られてないと。そして、「実  
は、普段の生活の足元にその  
悪の根源がある」旨の私見を  
披露された。折しも、ナチス

### わたしの

### おすすめ絵本

読んでほしい、おすすめの  
絵本を、シリーズでご紹介  
します。



「9条の会」よびかけ人の井  
上ひさしさんが、小学生に  
直接話したこと、武田さ  
んの楽しい「ラボ」とても  
身近で大切な、そして世界  
に誇る「日本国憲法」が、ス  
トーンと伝わってきます。大  
人の皆さんもぜひ。 ㄝM

### 「けんぼうのおはなし」

井上ひさし 原案  
武田 美穂 絵

迫害を逃れて亡命した  
ハンナ・アーレントの  
著『全体主義の起原』  
の解説を読んでいて、  
彼の指摘と重なり双方  
警鐘鳴らす洞察に深く  
感じ入った。  
うらさびしい庵での  
問答は、国家への不信、  
寄る辺ない不安の中に  
埋もれず「そもそも人  
間とは何か、何のため  
に生きているのか」を  
根気強く「考える」こ  
とを静かに訴え、複数  
の他者の眼差しによつ  
てこの複雑な現実を変  
えられる希望をも抱か  
せる。